

# 令和5(2023)年度 看護職員就業実態調査 (病院)

< 令和6(2024)年5月実施 >

## 令和5(2023)年度 結果概要

### 看護職員の離職状況について

- ・常勤看護職員の離職率は 13.9%、前年度は 13.9%で 前年度増減なし
- ・新卒新採用常勤看護職員の離職率は 11.4%、前年度は 11.1%で 前年度から0.3ポイント増
- ・常勤看護職員のうち、  
通算経験3年目の離職率は 20.1%で前年度から1.1ポイント増  
通算経験5年目の離職率は 18.2%で前年度から3.5ポイント減
- ・退職理由\*は、多い順に 本人の心身不調(身体+メンタル) (13.5%)、転居(9.6%)、妊娠出産子育て(5.0%)  
\*その他・不明を除く  
新卒新採用者の退職理由で最も多いのは 本人の心身不調(身体+メンタル) (35.2%)
- ・二次医療圏別の看護職員の離職状況について  
常勤看護職員離職率は、高い順に 県西(17.7%)、県央(16.0%)  
新卒常勤看護職員の離職率は、高い順に 県西(15.5%)、湘南東部(14.0%)

### 【今年度調査に関する補足】

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行して以降初めての実施となった。また、今回より調査票の回収方法を従来のメールによる回収から、システムへのアップロードによる回収へと変更をした。

## I 調査方法及び概要

### 1. 調査方法

- (1) 調査目的 : 看護職員就業状況について実態を把握し、今後の施策に活用する
- (2) 調査対象 : 神奈川県内の病院 336施設
- (3) 対象期間 : 令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日
- (4) 回答数 : 213施設 有効回収率63.4%(昨年度回収率69.6%)
- (5) その他 : 図及び統計表の数値は少数第二位を四捨五入しているため項目の和と計の値は必ずしも一致しない  
: 未回答等のため設問により回答数が異なる場合がある

### 2. 回答状況等

病床数	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
20～99	86	41	47.7%	19.2%
100～199	112	70	62.5%	32.9%
200～299	52	40	76.9%	18.8%
300～399	43	27	62.8%	12.7%
400～499	20	15	75.0%	7.0%
500以上	23	20	87.0%	9.4%
合計	336	213	63.4%	100.0%

二次医療圏	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
横浜	132	84	63.6%	39.4%
川崎	39	30	76.9%	14.1%
相模原	35	22	62.9%	10.3%
横須賀・三浦	29	14	48.3%	6.6%
湘南東部	25	15	60.0%	7.0%
湘南西部	21	15	71.4%	7.0%
県央	32	22	68.8%	10.3%
県西	23	11	47.8%	5.2%
合計	336	213	63.4%	100.0%

R5.4.1時点の就業人数	41,152
R6.3.31時点の就業人数	40,392
R6.3.31時点の平均看護単位	8.86
R6.3.31時点の平均勤続年数	8.41
R5.9月の平均残業時間	6.57
R6.3.31時点の看護補助者人数	9,236